

# SSHだより

9月号 令和3年9月14日(火) 豊田西高校



SS委員会



## ～成果発表会 感想～

私は、改めて先輩方の凄さを肌で感じました。先行研究や独自の過去の研究をさらに発展させて、細かく考察をしていたので、発表から多くのことを学ぶことができました。ここで得た経験を自分の研究にも生かしていきたいです。 2年男子

1、2年生のみなさんは、成果発表会をどのように感じましたか。先輩たちの発表は、私たち全員にとって大変参考になったのではないのでしょうか。私は、先輩たちの発表や実験の仕方を見て、自分たちの実験や発表に活用していきたいと思いました。 2年男子



## ～夏の研修会～

### 核融合科学研究所研修 8/5(木)

岐阜県土岐市にある核融合科学研究所に行き、研究所の主要施設を見学するとともに、3グループに分かれて実習・実験に取り組みました。Aグループはプラズマ閉じ込め模擬実験、Bグループは冷却装置の作成、Cグループはプログラミングの可視化など、それぞれの参加者が興味のある分野を体験的に学ぶことができました。

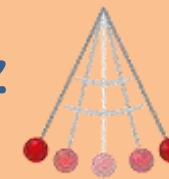


研究所前での集合写真



炉心の構造の説明を受けている様子

## 今月の科学



「放射線」と聞くと、「怖いもの」、「避けるべきもの」というイメージをもつ人が多いかもしれません。僕もその一人でした。もちろん一定量以上の放射線を浴びると、DNA中の原子が電離、励起されることでフリーラジカルが発生しDNA損傷、つまり身体に害を及ぼすことが分かっています。一方で、放射線は人の命を救う医療分野で大いに活用されています。がん治療で行われている「放射線療法」は、そのひとつです。放射線療法は、放射線の力でがん細胞を殺傷する治療法です。切除手術、抗がん剤投与と並ぶ有効な治療法ですが、体外から放射線を照射するため、がん周辺の正常な細胞に悪影響を与えないようにするか工夫が必要となります。そこで現在、がん細胞だけを狙い撃ちする、新しい放射線療法が研究されています。このように、物事の一つの面だけを見るのではなく、様々な可能性があることを頭に入れ、科学の新たな可能性に期待するのもいいと思います。

参考文献

yumenavi.info

